慣用句(上級)プリント1（ルビつき） No.18（ルビつき）

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　「お鉢が回る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ お鉢が回るのを見て、誰が一番多く食べるか賭けた。
- ○ 欠員が出たため、ついに私にお鉢が回ってきた。
- ○ お鉢が回るように、食卓の料理をきれいに並べた。
- ○ お鉢が回るまで、熱いので触らないように注意した。

問2　「骨身に染みる」の意味として最も適切なものはどれですか？

- ○ 寒さや人の情けなどが、深く身や心に感じられる
- ○ 非常に苦しい状況に耐えて、じっとがまんすること
- ○ 自分のあやまちを反省して、素直にあやまること
- ○ 他人のために苦労を惜しまず、一生懸命働くこと

問3　「花を持たせる」の意味はどれですか？

- ○ 相手に重要な役割を与えて、期待を寄せる
- ○ 相手に責任を押し付けて、自分は逃げる
- ○ 相手を立てて、功績や名誉を譲る
- ○ 相手に華やかな贈り物をして喜ばせる

問4　彼はその道では（　）に聞こえる名人だ。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 鼻
- ○ 耳
- ○ 口
- ○ 音

問5　彼は社内でも有名な（　）利きだ。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 腕
- ○ 頭
- ○ 指
- ○ 腰

問6　「一泡吹かせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 石鹸で一泡吹かせるように、よく手を洗った。
- ○ 格上の相手に作戦を仕掛け、一泡吹かせてやった。
- ○ 一泡吹かせるほど、彼は驚いて目を丸くした。
- ○ 一泡吹かせるために、冷たい水を相手にかけた。

問7　「肩を叩く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 後ろから声をかけるために、友人の肩を叩いた。
- ○ 重い荷物を運ぶ前に、肩を叩いて体をほぐした。
- ○ 疲れている同僚の肩を叩いて、マッサージをした。
- ○ 定年を前に、会社から肩を叩かれて退職を決意した。

問8　天涯孤独となった彼は、親戚の家に（　）を寄せた。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 足
- ○ 心
- ○ 身
- ○ 手

問9　売れない商品に見切りを（　）。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ つける
- ○ とる
- ○ だす
- ○ はる

問10　「これまでの関係をやめる」という意味で「手を引く」を正しく使っている文はどれですか？

- ○ 困っている人を助けるために、進んで手を引いた。
- ○ これ以上損失を出さないよう、この事業から手を引く。
- ○ 彼は重い荷物を運ぶために、台車の手を引いた。
- ○ 綱引きで、相手チームが力いっぱい手を引いた。

問11　「見る目がある」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 健康診断で視力を測り、見る目があると言われた。
- ○ 彼は暗い場所でも物を見る目がある。
- ○ 遠くの看板を見る目があるから、道に迷わない。
- ○ 無名の新人を発掘するとは、君は見る目があるね。

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう

慣用句(上級)プリント1（ルビつき） No.18（ルビつき）

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 「お鉢が回る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ お鉢が回るのを見て、誰が一番多く食べるか賭けた。
- ● 欠員が出たため、ついに私にお鉢が回ってきた。
- ○ お鉢が回るように、食卓の料理をきれいに並べた。
- ○ お鉢が回るまで、熱いので触らないように注意した。

問2 「骨身に染みる」の意味として最も適切なものはどれですか？

- ● 寒さや人の情けなどが、深く身や心に感じられる
- ○ 非常に苦しい状況に耐えて、じっとがまんすること
- ○ 自分のあやまちを反省して、素直にあやまること
- ○ 他人のために苦労を惜しまず、一生懸命働くこと

問3 「花を持たせる」の意味はどれですか？

- ○ 相手に重要な役割を与えて、期待を寄せる
- ○ 相手に責任を押し付けて、自分は逃げる
- ● 相手を立てて、功績や名誉を譲る
- ○ 相手に華やかな贈り物をして喜ばせる

問4 彼はその道では（　）に聞こえる名人だ。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 鼻
- ○ 耳
- ○ 口
- ● 音

問5 彼は社内でも有名な（　）利きだ。（　）に入る言葉はどれですか？

- ● 腕
- ○ 頭
- ○ 指
- ○ 腰

問6 「一泡吹かせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 石鹸で一泡吹かせるように、よく手を洗った。
- ● 格上の相手に作戦を仕掛け、一泡吹かせてやった。
- ○ 一泡吹かせるほど、彼は驚いて目を丸くした。
- ○ 一泡吹かせるために、冷たい水を相手にかけた。

問7 「肩を叩く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 後ろから声をかけるために、友人の肩を叩いた。
- ○ 重い荷物を運ぶ前に、肩を叩いて体をほぐした。
- ○ 疲れている同僚の肩を叩いて、マッサージをした。
- ● 定年を前に、会社から肩を叩かれて退職を決意した。

問8 天涯孤独となった彼は、親戚の家に（　）を寄せた。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 足
- ○ 心
- ● 身
- ○ 手

問9 売れない商品に見切りを（　）。（　）に入る言葉はどれですか？

- ● つける
- ○ とる
- ○ だす
- ○ はる

問10 「これまでの関係をやめる」という意味で「手を引く」を正しく使っている文はどれですか？

- ○ 困っている人を助けるために、進んで手を引いた。
- ● これ以上損失を出さないよう、この事業から手を引く。
- ○ 彼は重い荷物を運ぶために、台車の手を引いた。
- ○ 綱引きで、相手チームが力いっぱい手を引いた。

問11 「見る目がある」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 健康診断で視力を測り、見る目があると言われた。
- ○ 彼は暗い場所でも物を見る目がある。
- ○ 遠くの看板を見る目があるから、道に迷わない。
- ● 無名の新人を発掘するとは、君は見る目があるね。